

定例記者会見発言録

日 時：令和4年4月4日（月）14時～

場 所：伊達市役所東棟4階 401・402 会議室

出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、
健康福祉部長、教育部長、こども部長、危機管理担当参事、
健康対策担当参事

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社、福島中央テレビ福島支社

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

年度始めのあいさつ「未来躍進」～夢のあるまちづくり～

資料1 令和4年3月16日の地震に伴う被害の状況

資料2 令和4年3月16日の地震に関する支援

資料3 伊達市防災マップ（令和4年3月改訂版）を発行

資料4 市内の新型コロナウイルス感染状況および新型コロナワ
クチン追加接種（3回目接種）対象年齢を拡大

資料5 霊山こどもの村をリニューアル

資料6 出産育児一時金支援事業

資料7 高校生等の通学費補助事業を開始

《質疑応答》-----

令和4年3月16日の地震に伴う被害の状況

■り災証明関連

記 者 り災証明の受付についてですが、受付件数というのは、り災証明の申請件数とイコールということでしょうか。

市 長 そうです。申請件数です。

記 者 昨年2月の地震と比べて申請件数はどちらが今の段階で多いのでしょうか教えてください。

危機管理担当参事 手持ちで持ってきていませんでしたが、ほぼ同数か若干前回の方が
多い感じがするかもしれません。なお、詳しいことについては後ほどご説明出
来ればと思いますがよろしいでしょうか。

■災害復旧に関する補正予算関連

記 者 はい。地震の災害復旧に関連した補正予算を組むお考えはありますか。

市 長 はい。補正予算は組んでまいります。災害見舞金とかですね。これについても
補正予算での対応となつてまいりますし、今後4月中に補正予算を組んでまい
りたいと考えています。

■交通被害関連

記 者 地震の関連なんですけども、伊達橋や阿武隈急行など交通面で影響が長期化しそうですけれども、来週から学校が始まりますが、市としてどのように考えてますでしょうか。

市 長 一番学校が始まることで大きな影響受けるのが阿武隈急行となります。それにつきましては、阿武隈急行の沿線には福島交通のバス路線が走っておりますので、福島交通さんに阿武隈急行から対応をお願いしているということであります。現在のところ朝晩については、今現在の運行の中で、台数が足りなくなる可能性がありますので、その場合は増便してもらうとかそういう対応を福島交通にしてもらう。併せて新聞に発表になっていますが、阿武隈急行で朝晩の代替バスを走らせるということで、状況を見てまだ足りない不便だという場合には再度阿武隈急行の方で対応するということになっております。

記 者 併せて阿武隈急行についてなんですけれども、相次ぐ災害とコロナもありまして収束的にもかなり厳しい状況が続いていて、今回も被害箇所が多く、長引いた場合、利用客離れといったところが懸念されると思うんですけども、市長としてどのようにお考えでしょうか。

市 長 被害による不通が長引いて、バスとか自家用車で通勤、通学される場合にそちらの方に流れてしまうという可能性はあります。それを防止するためには、時間的にバスより鉄道の場合はきっちり守られているということを利用者にアピールするということと、通勤、通学以外の観光面で利用いただけるような対策を市と阿武隈急行と一緒に考えていかなければならないと思っております。いずれせよ伊達市にとりまして阿武隈急行は重要な交通網ですので、この阿武隈急行が今後も継続されるように市としても支援していきたいと考えています。